

言葉遊び①

言葉遊びと言えば、子どもの頃、よく「しりとり」遊びをしたことを思い出します。「ん」が付くと負けになるので、「ん」に気をつけながら遊びましたが、「ぷ」と「る」、「り」で言葉が見つからず負けてしまったこともありました。負けると悔しいので、辞書で調べて語彙が増えたことを思い出します。

国語の教員時代には、回文(いのししの胃)づくり等を取り入れて言葉の面白さを動機づけたりどうかと個人的に考えていました。今回の言葉遊びは、漢字の読みです。漢字は音と訓があります。辞書なしで挑戦してみてください。

挑戦して欲しい漢字は、「子子子 子子子 子子子」の読みです。高校時代の古典の参考書の片隅にあったものです。この読みは13世紀頃成立した『宇治拾遺物語』に出てくる日本で一番古い言葉遊びと言われています。

時の天皇が「どんな難解な言葉でも読むことができ」と豪語していた臣下に出した謎かけだそうです。その臣下は見事に正解を出し信頼関係が深まった逸話が残っているそうです。

ヒントです。「子」の読みが3通りあること、音読み、訓読みを組み合わせて、途中に「の」を2回入れて読んでみてください。

言葉遊びは脳の疲れがとれ回転もよくなります。正解は次回お知らせします。

○語彙力チェック

①「肝」の慣用句として正しくないのはどれか。

A 肝が据わるB 肝を上げるC 肝が抜けるD 肝を冷やすE 肝に銘ずるF 肝をつぶすG 肝が太い

②「パラドックス」に当たる日本語は。

A 天国 B 段落 C 逆接

③「主体」の対義語は。

A 客体 B 個体 C 絶体

④「杞憂」の正しい意味は。

A 憧れや希望を持つこと B しなくともよい心配をすること C 自分が優秀だと思いつぶすこと

⑤「牛飲口食」の口の中に正しい漢字を入れよ。

A 鶏 B 犬 C 馬 D 猫

⑥「久闊(きゅうかつ)」を使った正しい文は。

A 久闊を温める B 久闊を叙する C 久闊を略する

(解答) ① B ② C ③ A ④ B

⑤ C ⑥ B